

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 今宿作成日: 令和3年12月18日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	年2回避難訓練を行っているが、職員全員が非常時に冷静に行動出来るかが不安であるため、訓練を頻繁に行える体制を整え、職員一人ひとりの意識と技術を高めていく。	利用者を巻き込まずに、職員が、職員と利用者役に分かれ、避難場所を特定し、目標タイムを設定して夜間想定訓練を行い、夜勤者が自信をつけるまで繰り返し訓練し、利用者が安全に避難場所で待機できる体制を整えていく。	12ヶ月
2		人事考課に向けた取り組み	開設5年目を迎え、スキルの高い職員が定着している。次のステップとして、職員一人ひとりが目標を設定して定期的に自己、他己の評価を行い、努力が評価される仕組み作りに取り組んでいく。	年度初めに職員一人ひとりが目標を決めて、半期ごとに振り返り、個別面談で評価を行い、長所、短所を見える化することで一人ひとりのスキルアップに取り組み、職員のモチベーションを高めていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。